

町民文芸

まぐべつ

第26号・2010

特集「家族物語」より

# 教誓寺の歴史

宗派 真宗大谷派。

明治29年2月24日、金山大恵によって啖別村に説教所が創立された。

明治31年春に東為教が三代目として着任。

為教は富山・光林寺の住職であった。

明治39年に「教誓寺」となり、開基住職を命ぜられる。

大正11年に記録的な大洪水に遭い、以後の洪水を恐れて大正12年に現在の地に移転した。

その後昭和6年に得度した東信盛(富山県出身)が住職となり、本堂が昭和36年に完成。

三代目住職の東常念は昭和55年に就任。